

進路便り Road to the Future

No.35

どう冬休みを過ごしますか

三者懇談が終了しました。“進路希望確定書”は全員提出してもらいましたか。いよいよ冬休みを迎えるが、どのように過ごしますか。

この冬休みをどう過ごすか、自分のやるべきことは明確に把握できていますね。決定した目標に向かって全力で立ち向かう時です。全力で頑張れば悔いは残らないでしょう。具体的な取り組みの中身は各自で違ってくると思います。いろんな方法を参考にして、最大限の力が発揮できるように工夫してください。

●具体的に取り組むべきことを示します。自分に当てはまる取り組みをしっかり頑張ってください。

①作文の練習をする

入試で作文が課せられる人は、練習が絶対に必要です。いきなりその場で書こうと思ってもなかなか書けないものです。昨年の課題を参考に書きましょう。また、書いた練習作文は担任の先生に、早めに見てもらいましょう。書き直しをしたり、題を変えて書いてみることで、書き方のコツがつかめるようになってくればオッケーです。

②面接の受け答えを考える

入試で面接が課せられる人は、想定される質問に対する答えを考えておきましょう。“志望理由”や“中学校生活で印象に残っていること”は、よく聞かれる質問です。どう答えるのか、必ず準備しておきましょう。昨年の面接質問例を、志望校に合わせて配布します。参考にしてください。1月には面接練習を実施します。そのときには、しっかり答えられるようにしておきましょう。

また、服装も整えておきましょう。ボタンは取っていないか、ほつれや汚れはないか確認し、入試に臨める状態にしておいてください。



③ひたすら勉強する

言うまでもありません。もはや、授業態度をよくしても、提出物を頑張っても、12月の成績を変えることはできません。報告書の成績は変えられないのです。つまり、合格の可能性を高めるためには、入試当日のテストで少しでも多くの得点をとれるようにするしかないです。

学習確認プログラムの結果はどうでしたか。模試を受けた人は結果はどうでしたか。得点力が伸びてこないという悩みを抱えている人も多くいると思います。あせらず、落ち着いて勉強に取り組み、「よくあれだけ勉強したなあ。」と、あとで振り返れるほど勉強に没頭してみてください。

「どんな勉強をすればいいかわからない」などとまだ言っている人はいませんか。もうこの時期は、問題演習につきます。過去問や問題集などでたくさん問題を解くことが一番です。初めはわからなくても、何度も解きましょう。たくさん解いているうちに、同じような問題が出題されることに気付くはずです。そうなれば、得点力もおのずと上がってくることでしょう。

自分で自分をほめることができるほどやれば、達成感も大きくなります。合否はその結果についてきます。悩んでも仕方ありません。人のことは気にせず、自分の目標に向かって前進あるのみです。

④願書の下書きをする

私立高校を受験する人と公立高校前期選抜を受験する人は、願書のコピーを配布します。下書きをしておいてください。年明けには清書をします。またWEB出願の人は入力をしておいてください。

1月6日には、全員が元気な顔で、「冬休み、自分がやれるだけのことはやった！」と言えるようになつてください。今のみんなにとって、精一杯やることが残されている道だと思います。ファイトです！！

年明け1週目・2週目の主な進路日程

冬休み中	<ul style="list-style-type: none"> 私立、公立前期の願書の下書きをしておく。 私立のWEB入力の学校は、マイページをつくって入力しておく。(保存・中断) 過去の出題例を参考に、面接や作文の練習をしておく。 <p>《保護者の皆様》手書き願書の私立高校の受験料振り込みについて</p> <p>年明けでは振り込みに行く日がとりにくいご家庭は、冬休み中に受験料の振り込みをお願いします。各高校によりますが、およそ2万円です。ご準備よろしくお願いします。また、振込証明書は必ず保管しておいてください。願書に貼ります。</p> <p>なお、WEB出願の私立高校の受験料の振り込みは、1月7日(金)から入金可能です。それまでは、入金できませんので注意してください。</p>
1月 6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 授業再開 私立、公立前期の願書の下書き提出(私立振込証明書も振込が済んでいれば提出) 私立WEB願書の人は「申込内容確認書」をプリントアウトしたものを提出 特別事情具申の申請 ~11日まで(前期選抜) ~17日まで(中期選抜)
1月 7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> 6限:私立願書の清書 ⇒ 持ち帰り、保護者名の記入をしてもらう ⇒ 11日(火)朝学活で提出 ⇒ 振込証明書も11日(火)までに提出をお願いします。 WEB出願振込開始 ⇒ 振込後、願書・受験票をプリントアウトして11日提出
1月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 私立願書の清書提出 振込証明書も合わせて提出して下さい。 (間に合わない場合は、必ず連絡をしてください)
1月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 私立願書点検
1月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 5限:公立前期願書の清書 ⇒ 持ち帰り、保護者名の記入をしてもらう 検査料の2200円の封筒も一緒に持ち帰る ⇒ 14日(金)朝学活で提出 ⇒ 検査料は17日(月)までに提出をお願いします。
翌週以降	<ul style="list-style-type: none"> 公立前期選抜願書点検 私立高校出願(願書点検終了後、願書を返却します。) 定期テスト⑤(19日~21日) などなど・・・

私立高校の出願について

一昨年までは、中学校からの持参による一括出願が可能な高校については、中学校から出願していましたが、昨年度からは以下の2点を考え、個人で郵送による出願をお願いしています。

①多くの学校でWEB出願登録が導入されたこと

(ご家庭の都合により振込完了日がそろわない可能性もあります。振込・点検完了した人から順次出願。)

②窓口出願の際に混雑の可能性もあり、新型コロナウィルスの感染予防の観点

なお、WEB出願登録の学校については、1月7日(金)から振込開始⇒振込完了後に願書をプリントアウト⇒中学校へ提出⇒写真貼付⇒個人に返却⇒各自郵送で出願 という流れになります。

(京都の高校の願書には、写真は中学校で貼りますのでアップロードや証明写真を撮る必要はありません)